

いちかわ

屋敷街の散歩道

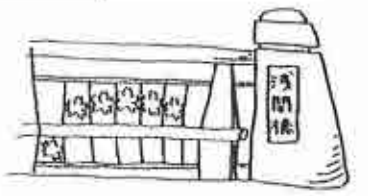
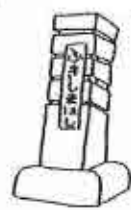
歩いて楽しい!

八幡・菅野界限発見マップ
発行 市川市 文化振興課
2013年3月改訂

発見 真間川の橋

富貴島橋 平成2年3月竣工
橋周辺の道路には
ビー玉が埋められている。
<夜は光るらしい?>

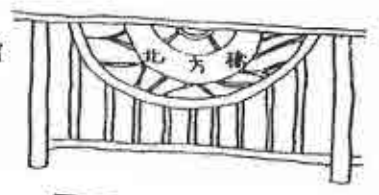
浅間橋 昭和63年3月竣工



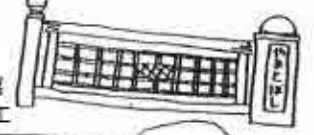
八方橋 昭和62年3月竣工



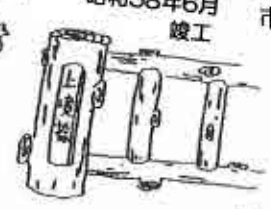
北方橋 昭和61年6月竣工



大和橋 昭和60年3月竣工



上境橋 昭和58年6月竣工



境橋 昭和58年5月竣工



新川橋 昭和57年12月竣工



市川市生涯学習センター (メディアパーク市川)
図書館・こども館・映像文化センター・文学プラザ・教育センターからなり、大須賀力の彫刻、福田重雄のモニュメントなどがある。

県立現代産業科学館

句碑
朴散りし
後妻が咲く
天井華
作・能村登四郎



十二社神社 古八幡 玄燈舎 天神七社 M14
フリースペース 園
千本 いちよう (千本公孫樹) (国指定天然記念物)
葛飾八幡宮
江戸時代の儒学者 亀田麟斎筆
源頼朝、太田道灌、徳川家康などの崇敬を集める。神社なのに随神門や鐘楼があるのは、江戸時代まで、法漸寺という寺もあったため。9月15日~20日までの祭礼に開かれる農具市(ボロ市)が有名。
市川梨は、1770年(天明7年)八幡の川上善六により、この境内で栽培されたのが始まり。「梨祖」として遺徳碑が建つ。
水声書道協会 (市川書道教室)
東昌寺 戊辰戦争のため亡くなった官軍兵士の墓石がある。
市川市役所 昭和10年3月に市庁舎落成。その後昭和34年に新庁舎、46年に第2庁舎、54年に第3庁舎を新設。
八幡地域ふれあい館
市川教育会館
ニッケ コルトン プラザ
京成鬼越駅

藪知らず・不知八幡森
その昔、水戸黄門がこの藪に入ったところ、なかなか出ることが出来なかったとか。また、入ると祟られるなどの伝説が残されています。

葛飾八幡宮を中心に、江戸時代は宿場町として栄えた八幡・菅の境界は、屋敷町の風情をよくとどめ、永井荷風・幸田露伴・水木洋子をはじめ、多くの文人たちの住んだ土地です。現在は駅を中心に、市役所や様々な店舗の立ち並ぶ、魅力的な街になっています。